



令和元年度 かながわティーチャーズカレッジ スタート!

開講式



令和元年8月4日(日)、神奈川県立総合教育センターにおいて、「かながわティーチャーズカレッジ」開講式と第1回かながわ教育学講座が開催されました。令和元年度かながわティーチャーズカレッジは、オープンコース127名、チャレンジコース(小学校)104名、チャレンジコース(特別支援学校)18名、チャレンジコース(中学校英語又は高等学校英語)19名の計268名が受講します。

開講式では、神奈川県教育委員会 桐谷教育長より、「ここで出会った同じ志を持つ



桐谷 次郎 教育長

た仲間と共に、カレッジでの学びを通して、学校教育に携わることのやりがいや、魅力を共有し、連帯意識を醸成していただきたい。そして教員となって、学校に勤務する際に『チーム学校』づくりを進めるために生かしていただきたい。」と励ましの言葉をいただきました。

また、カレッジ長を務める総合教育センター 田中所長からは、「よりよい学校教育を通してよりよい未来と社会を作るといふ、大きな使命と責任がある仕事を志したことに、自信と誇りを持ってほしい。カレッジでの学びを通して、強い志を持った教員となり、神奈川県で共に働きましょう。」と話がありました。開講式での話を聞き、教員になりたいという思いや、これからカレッジ生として学んでいきたいという意欲が、一層高まったのではないのでしょうか。



田中 俊穂 所長

続いて、カレッジ長より各コースの代表者4名に、受講証が授与されました。緊張した面持ちで受講証を受け取る代表者と、会場にいた受講者全員の顔に、これから始まるティーチャーズカレッジへの期待と熱い思いが表れていました。

担当職員の紹介

開講式に続き、グループ担当者、カレッジ事務局の紹介がありました。まるで入学式において子どもたちと担任が出会うような光景で、受講者もグループ担当者も、笑顔の中にこれから過ごす8ヶ月への強い決意を感じました。



スクールライフサポーター任命式

チャレンジコースの受講者を対象に、「スクールライフサポーター任命式」が行われ、任命書が渡されました。スクールライフサポーターとは、受講を希望する校種の学校に派遣され、原則として平日に週1回程度、同じ場所で継続して活動し、教育活動を支援するものです。ぜひ派遣先の学校で、積極的に子どもたちや教員と関わることで、教員として働くことの魅力を感じ、たくさんの感動を味わってほしいと思います。



第1回かながわ教育学講座

記念講演「未来を拓く子どもを育てる」

午後は「第1回かながわ教育学講座」が開催されました。神奈川県教育委員の佐藤麻子氏を講師に迎え、「未来を拓く子どもを育てる」と題して講演がありました。「変化の激しい時代だからこそ、既存の知識だけでなく、時代に応じて自ら学ぶ姿勢を身につけていく必要がある。子どもたちは熱中する体験を重ねることで、自己肯定感・自己有用感が高まり、学び続ける姿勢へとつながっていく。生涯学び続けることは幸せになるための一つの方法である。」と話がありました。自己肯定感が高く、自ら未来を拓ける子どもたちを育てるためにも、教員自ら学び続けることが大切です。その第一歩として、ティーチャーズカレッジで同じ志を持つ仲間と共に、子どもたちに求められる力やかながわの教育についてより多くのことを学んでほしいと思います。



佐藤 麻子 氏

グループ活動

講義の後は、グループごとに分かれ、初回のグループ活動が行われました。初めは、表情も固く緊張している様子でしたが、自己紹介やアイスブレイクなどをする中で、お互いに声を掛け合い、緊張もほぐれていったようでした。

グループワークでは、講義の内容を受け、「未来を拓く子どもたちを育てる」ために、「子どもたちに身に付けさせたい力」について考えました。どの研修室からも、受講者同士で活発に話し合う姿が見られ、以前からの知り合いであるかのような雰囲気と一体感を感じました。同じ志をもった仲間との出会いや、その志を心から応援してくれるグループ担当者との出会いを大切にするとともに、お互いに高め合い、力をつけていくことを期待しています。

